かさま社協だより No.32

編集・発行　2017.3.31

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会　笠間市美原3-2-11　TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp　URL http://www.kasama-syakyo.jp/

おかめひょっとこ踊りにいやされて（大旭支部）　撮影　横堀

もくじ

❶第６回笠間市社会福祉大会 …… 2
❷大旭支部（友部地区）ふれあい食事会 …… 3
在宅福祉サービス・ちょっといい話
❸介護予防・日常生活支援総合事業 …… 4～5
❹ボランティアセンターだより …… 6～7
❺お知らせ …… 8

この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

第6回笠間市社会福祉大会
ボランティア9団体と個人19人が表彰・感謝を受ける

去る2月26日、笠間市友部公民館で、福祉活動にたずさわる人々が集い、第6回笠間市社会福祉大会（2年に1回）が開催されました。

今回は、6団体・16人が笠間市社会福祉協議会会長より表彰されました。また、善意銀行への寄付で、3団体・3人に対し感謝状が贈られました。

式典の前には、落語家の桂花團治氏から「街角に生きる笑いの力」と題する記念講演をいただきました。

最後に、大会宣言を採択し、閉会しました。

笠間市社会福祉協議会会長表彰

社会福祉団体役員

枝川信子　社会福祉法人　尚生会評議員

飯村たか子　笠間在宅介護者の会「せせらぎ」副会長

ボランティア

配食　さくら
配送　ひだまり
学校支援ボランティア
おはなしの会　サルビア
笠間市スクエアステップ
リーダー会　岩間支部
ハイビスカスの会

社会福祉協議会役員

佐藤肇　永井久　野口賢男　岡野博之

心配ごと相談員

高橋幸子　鈴木悦子　芥川麗子　嶌英彦

支部社協

浦川京子　こうゆう会
竹本秀子　こうゆう会
桑野郭延　宍戸支部
山本弘子　宍戸支部
調朝幸　大旭支部
菅谷亨　北川根支部

笠間市社会福祉協議会会長感謝

善意銀行への寄付

河本昭三
仲田米蔵
打越貢（故）
青葉町長寿会
笠間ソフトメン橋本屋
水戸ヤクルト販売株式会社

（順不同・敬称略）

記念講演　講師 落語家　桂　花團治先生

演題　「街角に生きる笑いの力」

講師は、落語家と大阪青山大学健康こども学科客員教授という二足の草鞋を履く桂花團治先生。ステージの袖から登場するや、「大阪から新幹線を利用し友部駅に着いたところ、ここまで護送されてきました」とのごあいさつ（笑い）。

さすが落語家さん、一瞬のうちに客席の心をつかまえる。

「笑いは緊張の緩和です」笑うと息を吐く、緊張すると息を吸う、笑いと緊張がうまくいったとき「息が合う」という（成る程）。

池の鯉に向かって10円玉を投げ入れている人に、「何をしているの？」と尋ねると、看板に鯉の餌10円と書いてある（笑い）。

投書箱に向かって一生懸命声を掛けている人に、「何をしているの？」と尋ねると、あなたの声を聞かせてくださいと書いてある（笑い）。

笑いのネタが次から次へと飛び出してくる。

チンドン屋の人たちは楽器を弾くプロですが、時々音を外す。相手に隙を見せることで場の雰囲気を和らげ、笑顔を作らせているのだそうだ。

「今日は何曜日や」「日曜日と違いますか」「そや日曜日や」など、日常会話のなかでも決定権を相手にゆだねることも人間関係を和やかにするものだと。

「笑い」にはいろいろあります。「気分が良くなり、元気や健康につながる笑い」「人と人とのコミュニケーションをつくり出す笑い」「イヤな気持ちや不安とサヨナラするための笑い」…など〝薬〟になる笑いがある。一方で「人を傷つける笑い」「格差をつくり出す笑い」…など〝毒〟になる笑いも存在します。薬になる笑いに多く出会い、笑いの『ツボ』を心得ることで、人も街も、もっといきいき・和やかになるのではないでしょうか。

「笑いの力」は社会福祉の心構えにも通ずると感じました。（髙野）

桂花團治先生のプロフィール

1962年大阪生まれ。

幼少期から吃音や赤面性になやみ、いじめを経験するも、たまたま演じた漫才で笑いをとったことから「笑わせる」楽しさを知り、いじめを克服する。

2015年4月に、「三代目桂花團治」を襲名。現在は自身の経験や悩みから導きだしたコミュニケーション論が評判を呼び、多くの教育機関で教鞭をとる。企業・自治体からの研修依頼も多く、自他共に認める「大阪で一番多く教壇に立つ落語家」である。

笑顔でみんな童心に
心のこもった手作り弁当（大旭支部）

3月5日、友部社会福祉会館で大旭支部（友部地区）のふれあい食事会（80歳以上の方を招待、出席者70人）が開かれ、区長・民生委員・支部役員を含む100人以上の参加がありました。

はじめに菅原毅大旭支部長による開会の挨拶と来賓の紹介がありました。

アトラクションでは、吉田正次さんのハーモニカによる「湯の町エレジー」「あこがれのハワイ航路」など、懐かしのメロディーが演奏されました。

続いて「野菊の会」によるおかめひょっとこ踊りが披露され、お面の表情と手足の仕草に心がなごみ、みんな童心にかえりました。

最後は、小松崎美恵子さんによる「ちんどん」「ういろう売りの口上」「南京玉すだれ」等の芸が演じられ、話芸と手さばきのうまさに沢山の拍手がおくられました。

お昼になると、「にじの会」の皆さんによる手作り弁当と和菓子が配られ、お互いに隣同士で話を交えながらおいしくいただきました。

食事の後、記念品として「にじの会」で作った手編みのティッシュペーパー入れがプレゼントされました。（調）

在宅福祉サービス
こんな活動しています

この事業は「困った時はお互いさま」の精神で、地域に住む人が安心して暮らせるように、家事や育児・移送などのお手伝いをする有償サービスです。

今回は、移送サービスについて紹介します。

移送サービスは、主に医療機関への送迎で、介護保険認定者、および身体障害者手帳をお持ちの方で、バスやタクシーなどの利用が困難な方の移送です。要介護3以上の方は、付き添いをお願いしています。

・移送利用料（利用券で）
1時間700円

・ガソリン代（現金で）
市内片道200円
市外片道400円

※利用券は1冊5枚綴りで3500円です。

◆問い合わせ
在宅福祉サービスセンター
0296-78-3939

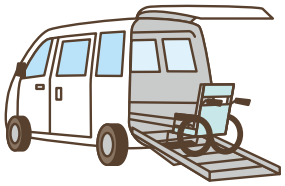
◆平成16年から移送サービスに関わっている方に、注意点などをお聞きしました。

・この活動に携わって12年。水戸の病院へ行く時は、時間がかかり利用者さんとコミュニケーションをとりながら、安全運転に心がけて走行しています。

リフト車（車イスごと入れる車）を使用する時は、声をかけながら安全を確かめてベルトを付けるようにしています。（M）

◆移送サービスに関わってくださる協力会員を募集しています。（70歳位までの方）

・活動を始める前の注意として、茨城福祉移動サービス団体連絡会が主催する移動サービス運転者認定講習会を受けていただきます。年2回の予定で、開催地は様々です。2日間の日程で行われ、ここでの修了証がないと移送サービスの活動ができませんのでご了承ください。（テキスト代1500円は自己負担でお願いします）（関）



ちょっといい話
ボランティア

ボランティアという言葉はよく耳にしても、活動するとなると敷居高に感じて躊躇（ちゅうちょ）してしまう方はまだまだいらっしゃるのではないでしょうか。

実は意外にもボランティアの明確な定義はなく、**①自分にあった身の周りのことから始める。②相手を尊重して活動する。③無理なく長く続ける。④たえず学習し、自分自身の成長につなげる。**という4つを踏まえればいつでも誰でもボランティアです。

現在、少子高齢社会で様々な問題が表層化する昨今、**「地域力」**が重要視されています。これは真の豊かさと安心して暮らせる社会のために、ボランティアへの期待と、活躍する場が益々増えるという意味でもあります。

定期的に参加することが難しくても、自宅で出来ることも沢山あります。少しでも興味を感じたなら、ぜひ社協ボランティアセンターに相談してみてください。（入江）

赤い羽根共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

総合事業が始まります
暮らしが続けられるように

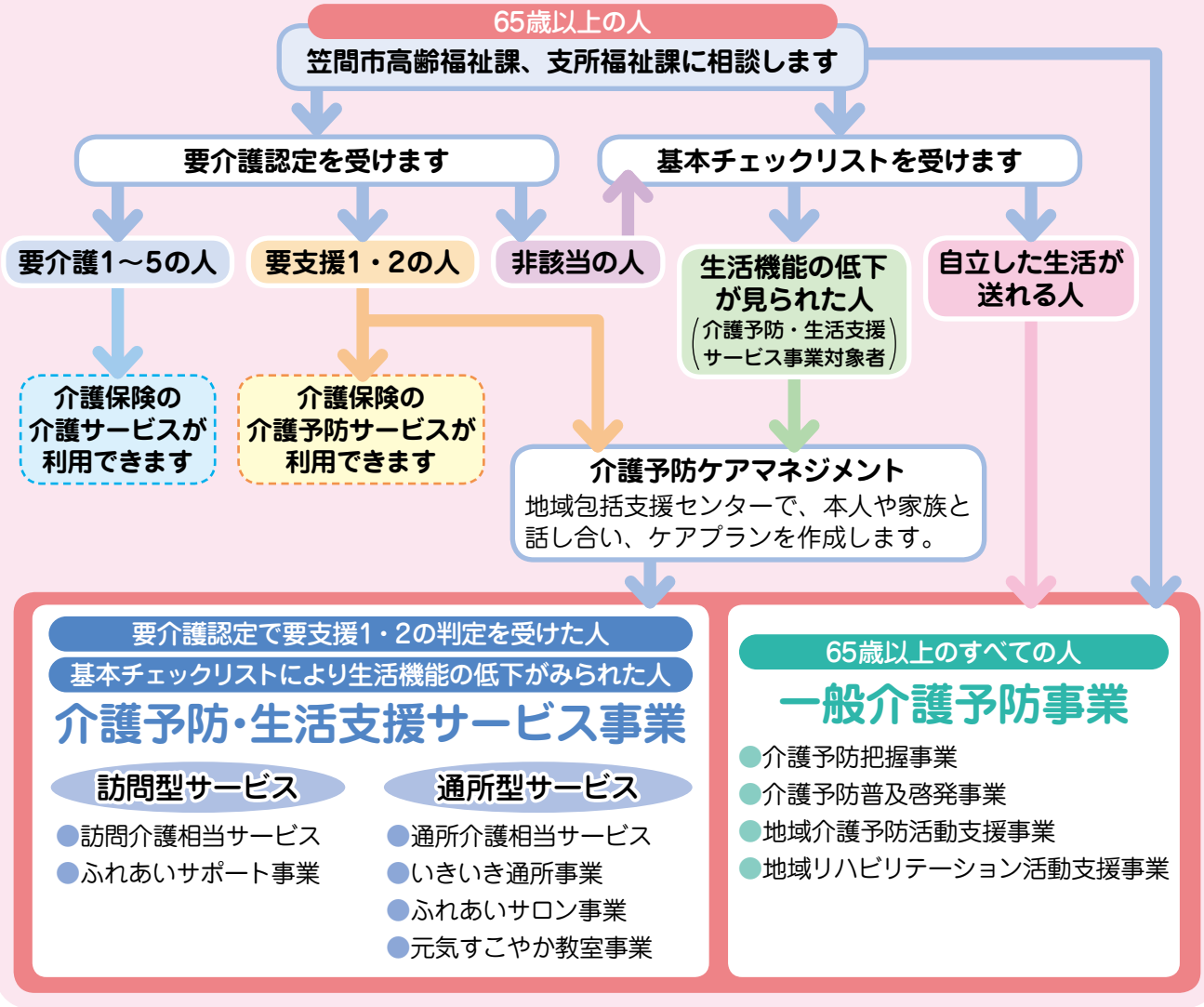
平成29年4月から新しく介護予防・日常生活支援総合事業が始まります。笠間市社会福祉協議会においても、要支援者などが住み慣れた地域で、地域とつながりをもちながら、自分らしい暮らしが続けられるよう支援していきます。支援内容として、社協で関わっていく「いきいき通所事業」「ふれあいサポート事業」についてご案内いたします。

介護予防・日常生活支援総合事業

介護予防・日常生活支援総合事業は、65歳以上すべての人を対象とした、市が行う介護予防のための事業です。介護保険の認定を受けていなくても一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスを気軽に利用することが出来ます。なるべく介護を必要としない暮らしをおくるためにも、介護予防・日常生活支援総合事業を利用して自立した生活を続け、介護予防に取り組むための事業です。

●利用までの流れ

介護予防・日常生活支援総合事業には、要支援1・2と認定された人や、基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた人が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業」と、65歳以上のすべての人が利用できる「一般介護予防事業」があります。



介護予防・日常生活支援

住み慣れた地域で自分らしい

いきいき通所事業

対象者に対し、専門性を伴わないデイサービス等を提供することで、日常生活の孤立感解消や自立した生活を促進し、高齢者の生きがいづくりと介護予防の支援を目的とします。

●1日のスケジュール

9:00…迎え
↓
10:00…受付・健康チェック
↓
10:30
↓ …レクリエーション
12:00 昼食・休憩
↓
13:00
↓ …レクリエーション
14:30
↓ …休憩・お茶
15:00…送り

●サービス提供時間

地　区	事　業　日	サービス提供時間
友部・笠間	月曜日から金曜日	午前10時から午後3時
岩　間	火曜日から金曜日	

※但し、祝日・8/13～8/16・12/28～1/3を除く。

●利用料金

利用料金	送迎あり		送迎なし	
利用者負担金	1割負担	2割負担	1割負担	2割負担
参加費	254円	507円	203円	406円

※別途、昼食費が400円～430円実費負担となります。
※本人の合計所得額が160万円以上の方は、原則2割負担となります。

ふれあいサポート事業

対象者に対し、訪問型サービスを提供し、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができるよう支援することを目的とします。

●支援内容と利用料

支援内容	利用料	利用料の支払い方
・食事づくり　・衣類の洗濯 ・住居等の掃除 ・生活必需品等の買い物	200円（45分未満の支援） 250円（45分以上60分未満の支援）	・事前に利用券を購入します ・支援終了後に活動時間分の券を協力会員に渡します

●活動日・時間

○毎週　月曜日～金曜日（但し、祝日・8/13～8/16・12/28～1/5を除く）
○午前9時～17時まで

●支援者

協力会員（市民の方で事業活動に登録した方）

お問い合わせ先

笠間市社会福祉協議会　本　所　TEL0296-77-0730
笠間支所　TEL0296-73-0084
岩間支所　TEL0299-45-7889

赤い羽根共同募金　このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

センターだより
くりを目指して

ボランティアって

辞書によると「奉仕者、自ら進んで社会事業などに参加する。無報酬で社会事業に参加する」とあります。

ボランティアは、好意を持ってやっても、相手が受け入れなければ、無駄という人もいますが、素直な心と心身の健康があれば大丈夫です。

平成29年度の登録が始まりました。皆さんの参加を待っています。

平成28年度 第一火曜日の会

2/7 和紙で「ハートの小袋」

ボランティアサークル「レクリエーションいわま」の4人を講師に迎えて
友部福祉会館　30人参加

3/7 手作り「蝶のブローチ」

ボランティアサークル「夢工房」の会員さんを講師に迎えて
笠間支所　18人参加

『第一火曜日の会』これからの予定

平成29年度

4/4(火)	地域交流センター Tomoa　見学	10:00～11:30	現地集合 友部駅前1-10(友部駅南口)
5/2(火)	グループホーム いきいきの家笠間　施設見学	10:00～11:30	笠間4386-1
6/6(火)	点字とスクエアステップ	10:00～11:30	岩間支所

問い合わせ　笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL0296-78-2626

詳しくは広報かさま　お知らせ版をご覧ください

H28年度 子育てママの応援講座
2/23(木)手提げ袋 3/3(金)シューズ袋

手提げ袋を作りました

―参加者の声―

♥今回3回目、ボランティアの方々が親切で、細かいポイントやコツをよく教えてもらい、きれいに仕上げることができました。1歳の子どもも預かってもらい、安心して作業ができました。

♥裁縫初心者な私にも、一つ一つ丁寧に教えてくださり、自分ひとりでは作ることのできなかったステキな手さげ袋ができあがりました。息子も喜んでくれると思います。

♥自分は裁縫が大の苦手で、とても不安でしたが、先生がとても親切だったので楽しく作りあげることができました。これをきっかけに、少しずつ色々な物を作りたいです。

平成29年度 ボランティア講座の募集について

講座名	開催日時	開催場所	講座にむけて
傾聴ボランティア講座	8/30(水)・9/6(水)・9/13(水) 9:00～12:00	友部社会福祉会館	相手の気持ちを受け入れて、心を込めて聞くための講座です。
	5/26(金)・6/2(金)・6/9(金) 9:00～12:00	岩間保健センター	
手話講座	毎月第2・第4金曜日　13:30～15:30	友部社会福祉会館	日常会話の手話表現技術を習得してみませんか。 ※笠間地区の場合、お問い合わせください。
	毎月第2・第4土曜日　10:00～12:00		
	毎月第2・第4土曜日　13:00～15:00	市民センターいわま	
点訳講座	毎月第1・第3木曜日　14:00～16:00	友部社会福祉会館	点字にはどんなルールがあるのでしょう。
	毎月第2・第4火曜日　13:30～15:00	市民センターいわま	

ボランティア

住みよいまちづ

平成28年度 県央ボランティア研修会

友援の会　磯部　佐智恵

平成29年2月20日（月）に小美玉市四季文化館（みのーれ）森のホールで行われた県央ブロック連絡会研修交流会に参加しました。NPO法人『ポルターモ』の皆さんによる「震災から6年・語りと音楽でつむぐコンサート」でした。『ポルターモ』とは、イタリア語で『愛の扉』という意味で、音楽を通して社会貢献されている団体です。

前半は、クラシック音楽の響きと日本舞踊の美しさに魅了されました。

後半は、岩手県大槌町にある『風の電話』に込められた想いを語りと音楽で私たちの心に優しさを届けてくれました。

『風の電話』を立ち上げた佐々木格（いたる）さんと奥様が大槌町から来られて、「大震災・生かされた者の生き方」というテーマで講演をされました。

東日本大震災で大槌町は、壊滅的な被害を受け、1253人の尊い生命を失い、まだ400人以上の人が行方不明だそうです。風の電話ボックスを設置された想いを聞くことができました。震災で亡くなった人の想いと亡くした人の想いをつなげればと設置されました。電話線はつながっていませんが、電話を使った多くの人が癒されています。

ボランティア活動の紹介

また、学校や図書館も流され本を読む場所のなくなった子どもたちに『森の図書館』を開設、更に『大槌宮澤賢治研究会』を設立し、三陸沿岸の復興を進めています。佐々木さんの優しさと行動力のある生き方に感銘を受けました。

「忘れ去られることが最大の危機」、「暖かい想いが心の復興の支え」という言葉が心に残り、想いを伝えられるボランティア活動を心がけていきたいと思いました。

各市町のボランティア活動紹介パネルが展示され、他のボランティアグループの活動について知ることができ、充実した研修会でした。

安心してボランティア活動をするために 平成29年度の登録が始まっています

笠間市ボランティアセンターでは、市内においてボランティア活動を広げていくために「ボランティアをしたい」「ボランティアをしてほしい」という方をつなげていくために、ボランティア登録をお願いしております。

ボランティア登録は、ボランティア活動を行う意思のある個人、ボランティア活動を行っているグループが登録できます。ボランティア登録は、年間を通じて笠間市ボランティアセンターで受け付けております。

ボランティア登録をしていただくことで、ボランティアの依頼があった場合に、登録内容に応じて、ボランティア活動を紹介させていただきます。

なお、ボランティア活動で、「怪我をしてしまった」「物を壊してしまった」などの万が一に備えて、ボランティア活動保険に加入していただきます。

詳しくは笠間市ボランティアセンター（0296-78-2626）までお問い合わせください。

市内に配布『福祉作文集』

共同募金事業として、年一回、市内の小学4年生～6年生・中学生・高校生に日頃、福祉について考えていることを各学校より募集し、作文集にして発行しています。

福祉作文集は、各学校と図書館などの公共施設に配布していますので是非、ご覧ください。

赤い羽根共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

善意の寄附を「ありがとう!!」（善意銀行預託）

平成28年11月1日～平成29年2月28日まで（順不同・敬称略）

物　品

エコキャップ、使用済み切手等

岩間第一小学校
県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
旭台睦会
佐白の館
興野ダンスアカデミー
美容室リ：バース
児山甚子
土師地区社会福祉協議会
ありんこ
大原小児童クラブ（ポプラの会）
みか保育園
冨田　嘉江
稲田小児童クラブ
友部小学校児童会
株式会社　久工
ナブコシステム㈱　茨城支店
すみれこども園
岩間第一幼稚園
イチカワユニオン岩間支部
額田　義文
河内電器
日綜産業株式会社　岩間事業所
ケアハウス悠
泰栄電器株式会社
いわま保育園
ともべ幼稚園
セントラル医学検査研究所
中村　浩一
小貫　義孝
いなだ保育所
くるす保育所
茨城県動物指導センター
㈲伊藤石材工業
おしのべ保育園
友部第二中学校
大沢保育園
友部自動車教習所
㈳木犀会　さくら
ともべ保育所
宝印房
めぐみこども園
関東セキスイハイム工業㈱
加藤　信子
友部東特別支援学校
秀芳会笠間支部
山中　としい
岩間第一小学校児童クラブ
岩間中学生生徒会
越　和美
匿名

食品等

笠間市農業委員会
上郷地域うまい米づくり研究会
美留町　文男
下安居地区社会福祉協議会

介護用品等

水戸ヤクルト販売㈱
こうゆう会　姫殿会
高齢者クラブ原宿会
匿名

衣類等

小林　良子
関　貞夫
第一生命労働組合水戸支部

金　銭

西飯田区	￥3,000
ひばり会	￥42,650
岩間ライオンズクラブ	￥100,000
笠間市高齢者クラブ連合会 岩間支部女性委員会	￥30,000
笠間市体育協会　スポーツダンス部	￥10,000
㈱笠間保全	￥3,089
笠間市ボランティア連絡協議会友部支部	￥50,000
笠間地方広域事務組合	￥50,000
JA 常陸　笠間地区花き部会	￥20,000
JA 常陸友部支店	￥40,271
ごみを考える会	￥3,000
大旭支部民生委員一同	￥5,517
望月三郎	￥30,000
匿名	￥80,643

編集後記

今年も、新入社員が入ってくる時期になりました。

次のエピソードは、新入社員が問題を解決したのではありませんが、類似しているので書いてみました。

九州・熊本にある大手の会社で、半導体の生産を始めた頃、何故か不良品が多く困っていました。

工場で働く全員がいろいろ工夫をしてみても、どうしても不良品が出てしまうのです。

ある時、遅番で出勤した若い女性社員が、工場の前を通っている線路の踏切で貨物列車の通過待ちにあい、列車の振動で足元がぐらぐら揺れるので、ひょっとしたら「この振動が工場内に伝わり、製品に影響しているのでは」と、幹部に伝えたところ、幹部はえらく感心し、工場の構内に振動を防ぐ深い堀を掘ってそこに水を張ったところ不良品は出なくなったとのことです。

何事にも疑問を持って物事に当たれば、この様な発想が生まれるのかも知れません。

私も広報委員の1人として編集に、また人間として、常に疑問を持って人生を歩んでいきたいものです。

（内桶）

平成29年度　心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください（無料・秘密保持）

時間：13:00～16:00（受付は15:30までにお願いします）

月＼場所	笠間支所（毎週火曜日）社協笠間支所	本　所（毎週水曜日）友部社会福祉会館	岩間支所（毎週木曜日）岩間保健センター
4月	4日・11日・18日・25日	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日
5月	2日・9日・16日・23日・30日	10日・24日・31日	11日・18日・25日
6月	6日・13日・20日・27日	7日・14日・21日・28日	1日・8日・15日・22日・29日
7月	4日・11日・18日・25日	5日・12日・26日	6日・13日・20日・27日
8月	1日・8日・22日・29日	2日・9日・23日・30日	3日・10日・17日・24日・31日

法律相談

※事前に心配ごと相談所へご相談ください。

笠間支所	本　所	岩間支所
第3金曜日 10:00～12:00 ※6月は第4金曜日	第1金曜日 10:00～12:00	第2金曜日 10:00～12:00

お問い合わせ先
社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会
本　所TEL0296-77-0730　FAX0296-78-3933
笠間支所TEL0296-73-0084　FAX0296-72-3722
岩間支所TEL0299-45-7889　FAX0299-45-6250